

(様式2(1))

事業所名 グループホーム希の丘

作成日: 令和3年10月19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2-2	新型コロナウイルス感染の鎮静化とともに地域にも日常が戻ることを想定し、ともに暮らす地域の一員として、感染対策と地域交流を両立させる対策に課題がある。	新型コロナウイルス感染の鎮静化とともに地域交流を再開し、利用者が安心して地域と交流しながら健康も守られる運営を行う。	感染症対策の指針において、「地域交流」の視点を加え、地域交流における感染症対策を作成する。	12ヶ月
2	8-7	成年後見制度へのニーズは高まっており、利用者の自己決定を尊重し、当事者の人権や財産などの権利を護る権利擁護を具現する成年後見制度を職員が学ぶ機会を作る必要がある。	職員一人一人が、利用者の自己決定を重視し、利用者の人権や財産などの権利を守る意識をもって利用者に関わることができる。	施設研修、委員会研修において「権利擁護」研修の機会をつくり、職員に制度内容の周知を行う。	12ヶ月
3	26-13	介護計画の見直し時期にはその旨をはっきり伝えて、家族の意向を聞き、介護計画に確実に反映させる必要がある。サービスの質の向上のための課題がある。	介護計画の見直しごとに家族の意見が反映され、家族と共同での介護計画の作成ができる。それにより家族や利用者の希望がかない、より良い生活につながる。	介護計画の見直し時に、担当ケアマネージャーより家族へ意向の確認を行う。その際、ケアの見直しであることを伝え、家族の意向が反映されていると実感していただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。